

# 1・2・3年保育 5歳児

〇〇組 〇色 在籍 男児〇名 女〇名 計〇名 指導者 〇〇 〇〇

## 1 最近の幼児の姿 (10月)

### 《遊びの様子》

- 9月に運動会を終え、戸外で体を十分に動かして遊ぶことを楽しんだ。その後の遊びでは、竹馬に乗って園庭を回ったり、竹馬を高くしたりして繰り返し遊びを楽しむ姿が見られた。また、5月にしたマルチパネの家作りを思い出し、家と家とを長くつなぐことに興味をもった幼児たちが、毎日マルチパネで遊ぶ姿も見られた。
- 10月に入り、1学期に経験した泥だんご作りを毎日楽しんでいる。遊び始めは泥だんご作りからという幼児が学級の半数いる。以前よりも上手に作れるようになったこと、できた作品を“泥だんご博物館”に入れたいと思う幼児が増えたこと、泥だんごを磨くための布を準備したことなどが、遊びにかかわる人数が増えた原因と考えられる。友達が作った物と見比べたり、友達に作り方を教えたりする姿が見られるようになった。
- 秋の季節を感じる落ち葉や木の実などを使って遊ぶ幼児が増えてきた。園外保育や家の近くの公園で拾ったドングリを使って、グループの友達と一緒にドングリ迷路を作ったり、飾りを作ったりして遊ぶ経験をしている。ダンボールなどの素材にも触れることができた。空き箱を使って、保育室内に大きな木を共同で作ったことから、落ち葉や木の実に関する興味・関心が高まっている。学級全体の幼児が同じイメージをもって長時間遊ぶことのできる環境を作っていきたい。

### 《人とのかかわり》

- 友達関係に大きな変化はなく、1学期と同じように友達にかかわる姿が見られた。男児・女児ともに2～4組のグループに分かれて遊ぶ姿が見られる。新しい遊びが始まるとグループごとに遊びが伝わり、次々に遊び始める。友達がしていることを同じようにしたいという願いが強いようだ。
- 友達と一緒に考えを出し合ったり、工夫したりして遊ぶことはできるが、新しい遊びを見つけたり、イメージや目的を友達と共有して遊ぶことがまだできない。途中であきらめずに、試行錯誤しながら、協力して遊ぶ姿を目指していきたい。
- 学級の幼児は、いろいろな遊びを経験しているが、一つの物を一緒に作る経験がこれまで少なかった。一緒に物をつくる機会を準備し、お互いに自分の意見を出したり相手との意見の違いやイメージの違いを感じながら、それぞれが楽しく遊ぶために、遊びを工夫していく姿を育てていきたい。

今週のねらい・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な自然物に触れ、秋の自然に関心をもつ。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な素材や用具を使って、自分なりのアイデアで工夫することを楽しむ。</li> <li>・ 遊びに必要な素材を選んで使おうとする。</li> </ul> </li> <li>○ 自分のしたい遊びを見つけ、教師や友達と一緒に遊びを楽しむ。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のしたいこと、思っていることを教師や友達に伝えようとする。</li> <li>・ 友達と一緒に協力して遊びをすすめようとする。</li> </ul> </li> </ul>		
物的環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節の木の实を室内に飾ったり、名前を知らせたりすることで、興味・関心をもたせる。</li> <li>○ 日頃使い慣れた空き箱、広告紙などの材料と自然物などの新しい素材とを組み合わせ、遊びに必要な物を作ることができるように準備する。</li> <li>○ 準備したドングリや落ち葉は、幼児の要求を満たすことができるような数を準備し、大切に使うことができるようにする。</li> </ul>		
援助と配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼児と一緒に自然物に目を向け、幼児の発見や驚きに共感しながら、秋の木の实や葉などを扱ったり、遊びに使ったりできるようにする。</li> <li>○ 遊びが広がり始め、友達とのかかわりも増えてくるため、自分のアイデアを伝えようとする場面をとらえて相手に気付かせていくよう援助する。</li> <li>○ 製作するコーナーでは、安全面には十分留意する。</li> </ul>		
日	〇日 (〇)	〇日 (〇)	〇日 (〇)
幼児の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○泥だんご作り →</li> <li>○ドングリの迷路作り →</li> <li>○マルチパネで遊ぶ →</li> <li>○竹馬乗り →</li> </ul>		○ドングリのアクセサリ作り
絵本	おおきなきがほしい	くぬぎむらのレストラン	どんぐりむらのぼうしやさん
反省・考察	<p>○ドングリゲームを作っていたA児は、先週の続きをして遊び始めた。他の幼児にも遊びにかかわってほしいという教師の願いから、グループ毎にドングリを使って遊ぶことができる迷路を作ってみた。ドングリをころがすというよりは、手ではじいたり、あやつったりすることに興味をもつ幼児がいた。それぞれのイメージを大切に、明日もかかわることができるような遊具にしていきたい。</p> <p>□B児は、グループでの活動が難しい様子で、自分1人の迷路が作りたいと訴えた。空き箱を準備し今日は様子を見守った。</p>	<p>○昨日のドングリ迷路で遊び始める幼児がいた。自分なりのイメージが実現したようだった。次に工夫する所を見つけてほしい。</p> <p>□B児は、自分の思い通りにならないことが多く、葛藤している様子である。寄り添う友達もいるが、わがままになってしまうことが多い。教師がかかわる時間を増やしていきたい。</p> <p>☆C児は、泥だんご作りに再び夢中になる。以前よりも上手く作れるようになったことがうれしい様子だった。遊びにかかわるようになるまで時間がかかるため、自らかかわることができるような環境を工夫していきたい。</p>	<p>○雨の日となり、ドングリ迷路にかかわる幼児が増えた。グループで作った迷路を友達と一緒に再構成したり、新たな迷路作りに取り組む姿が見られた。</p> <p>●年中組で作ったアクセサリ作りを要求する幼児がいたが、材料を十分に準備することができなかつたため、満足できない幼児がいたようだ。明日は、自分たちで遊びにかかわることができるように準備したい。</p> <p>□B児は、共通の迷路作りに参加し、遊びの一部を楽しむことができていた。落ちてくるドングリを自分の箱で受け止めることで満足できたようだった。</p>

○援助がうまくいったところ ●援助がうまくいかなかったところ □その他の反省・考察 ☆抽出児

本日の展開

5歳児 ○○組 (○色帽子)

○月○日 (○)

ね ら い 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ドングリや落ち葉の特徴に気付きながら、ドングリや木の葉を使って遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○ 友達と積極的にかかわりながら、一緒に活動する楽しさを味わう。</li> <li>・ ドングリを飾りに使ったり、ドングリが転がる様子を楽しんだりしながら、友達と一緒に遊びをすすめようとする。</li> <li>・ 自分なりの目標を決めて、泥だんご作りに挑戦しようとする。</li> </ul>
-----------------------	--

時間	一日の生活の流れ	予想される幼児の姿：本日までの遊びの様子と教師の願い
9:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登園する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする。</li> <li>・荷物の整理をする。</li> </ul> </li> <li>○シール貼りをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄をすませる。</li> </ul> </li> <li>○インコの世話をする。</li> <li>○好きな遊びをする。</li> </ul>	<div style="text-align: right;">正</div>
11:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○片付けをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いをする。</li> <li>(着替えをする。)</li> <li>・お茶を飲む。</li> <li>・排泄を済ませる。</li> </ul> </li> <li>○集まりをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊びをする。</li> <li>・絵本を見る。</li> </ul> </li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>竹馬乗りをする</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>運動会後に、高い竹馬に挑戦し始めた幼児がいる。自分なりの目標をもって、遊ぶことができるようになってほしい。</p> </div> <p style="margin-top: 20px;">* 自分で竹馬乗りの準備ができるように巧技台を職員室前に準備しておく。</p> <p>T まだ乗れない幼児には、朝言葉をかけるようにし、竹馬で遊び始めた時には援助する。</p>
11:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昼食の準備をする。</li> <li>○弁当を食べる。</li> <li>○歯磨きをする。</li> </ul>	
13:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな遊びをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドングリ迷路で遊ぶ。</li> <li>・ドングリのアクセサリ作りをする。</li> <li>・泥だんごを作る。</li> <li>・竹馬乗りをする。</li> </ul> </li> </ul>	
13:55	<ul style="list-style-type: none"> <li>○片付けをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いをする。</li> <li>(着替えをする。)</li> <li>・お茶を飲む。</li> <li>・排泄を済ませる。</li> </ul> </li> </ul>	
14:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集まりをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊びをする。</li> <li>・絵本を見る。</li> </ul> </li> <li>○降園準備をする。</li> </ul>	○○○○組
14:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○降園する。</li> </ul>	

男児 ○名 女児○名 計○名

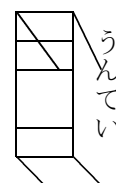
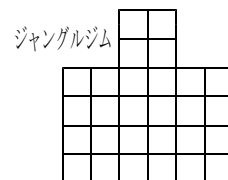
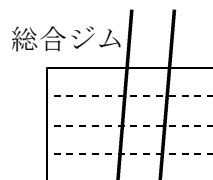
指導者 ○○ ○○

保育にあたって	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 落ち葉や木の実で遊ぶことができるように、集めた物を選択するコーナーを作るようにしたい。</li> <li>○ ドングリを使った遊びに興味をもった幼児がいる。上手くころがすことができる仕組みを友達と一緒に考えてほしい。</li> <li>○ 泥だんご作りを毎日続ける幼児が多い。それぞれが出来栄えのよい物を作ろうとしている。博物館のコーナーでは、展示した作品を見るスペースを確保していきたい。</li> </ul>
---------	---

\* 物的環境

T 教師の援助

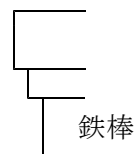
門 —



### 泥だんご作りをする

友達と一緒にかかわり合いながら泥だんごを作ったり、泥だんごを磨いたりして遊んでほしい。

- \* ジョウロを土山に準備しておく。
- \* 泥だんごを磨く布を準備する。
- T 幼児が作った物を誉めて認めるようにする。



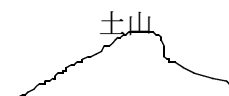
飼育舎

体育用具室

### ドングリ迷路で遊ぶ、アクセサリー作りをする

ドングリをころがしたり、飾りを作ったりするという目標に向かって、協力しながら楽しんでほしい。

- \* 迷路作りに必要な空き箱を準備しておく。
- \* アクセサリー作りに必要な素材を準備しておく。
- T 幼児が作りたい内容を把握し、願いにそった援助ができるようにする。



倉庫